

戦評用紙

大会名	第70回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会 兼 第51回NHK杯大会
-----	--

日時	2015年6月21日12:30～	区分	女子決勝
----	------------------	----	------

チームA				チームB
山形市立商業高等学校				秋田県立湯沢翔北高等学校
63	16	1Q	11	64
	19	2Q	13	
	20	3Q	11	
	8	4Q	29	
		延長		

【戦評】

白、山形商業(4・6・7・8・10)、青、湯沢翔北(4・5・6・8・9)、両チームハーフコートマンツーマン、で試合が始まる。両チームともにディフェンスで激しいプレッシャーをかけ合う。山形商業がオフェンスリバウンドを積極的に奪い得点を重ねていく。16対11、山形商業5点リードで1P終了。湯沢翔北は1-2-2ゾーンプレスをかけリズムを取ろうとするがなかなかリズムにのれない。さらにピックを中心に攻めようとするが山形商業に上手に守られてしまい点差が広がっていく。35対24、山形商業11点リードで2P終了。

後半に入り、さらに山形商業のディフェンスが厳しくなる。湯沢翔北のリズムは悪く、イージーシュートも落ち始める。山形商業はスティールからの速攻やアウトサイドシュートも決まり、55体35、山形商業20点のリードで3P終了。4P、なかなかリズムにのれない中、湯沢翔北はディフェンスを1-1-2-1フルコートプレスにし、粘り強く食い下がる。苦しい状況の中、「4」が3Pを決め、勢いが出てくる。その後、「9・5・4・4・5」の5連続3Pで残り 2:54、ついに57対57の同点に追いつく。山形商業も苦しみながらボールを運び、「10」、「6」がファールをもらいフリースローで得点をつなぐ。1:50で湯沢翔北タイムアウト。その後、一進一退の攻防が続く。残り2秒で湯沢翔北「9」がファールをもらいながらドライブを決める。フリースローも決まり63対64、ついに湯沢翔北が逆転に成功する。残り2秒で山形商業タイムアウトをとる。ラスト2秒、サイドスローからの1プレーにかけるが得点ならず。湯沢翔北の大逆転で幕を閉じた。

戦評者

渡邊 茂隆